

地元等の保護林との関わり、保護対象種の生息・生育状況の脆弱性等を考慮し
令和2年度以降重点的に対策を実施する保護林を選定

↓
17保護林

対策 資料3-1「保護林の保全に係る対応方針（イメージ）」に基づいて対策を実施

被害レベル3・4 ①奥地森林での捕獲 ②新たなシカ柵設置と奥地森林での捕獲 ③新たなシカ柵設置
被害レベル0～2 ④フロントライン（新たなシカ柵を検討）



奥地森林での捕獲

実行可能地域から捕獲を実施

新たなシカ柵設置

<保全エリア決定箇所>

- ①新たなシカ柵設置
- ②既存のシカ柵の巡視と補修

<保全エリア未設定箇所>

- ①保全エリアを検討するための調査を実施
- ②保全エリア内の目標、柵設置箇所の検討
- ③新たなシカ柵設置
- ④既存のシカ柵の巡視と補修

PDCAサイクルを回す

各保護林における今後の対策

① 奥地森林での捕獲

【選定理由】 既にシカ柵を設置しているエリアであるが、被害が深刻化しているため捕獲を強化する必要があるため

保護林名		シカ被害レベル	現在行っている対策	今後の対策
生態	祖母山・傾山・大崩山周辺 (生物多様性豊かな原生的天然林)	1~4	・シカ柵 (ネット:3,150m、金網:600m) ・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	【捕獲】 ① R2年度から奥地森林における捕獲を実施 【防護】 ① 既存のシカ柵の巡視と補修 ② R2年度から被害レベル1. 2エリアを中心に新たな柵を設置 【裸地化による土砂流亡への対応】 ① 緊急性の高い箇所があるか検討
生物	白髪岳 (ブナ林のほぼ南限)	3・4	・シカ柵(ネット:19,950m) ・シカ捕獲(一斉、わな協定)	【捕獲】 ① R2年度から奥地森林における捕獲を実施 【防護】 ① 既存のシカ柵の巡視と補修 ② 必要に応じて新たな柵を設置 【裸地化による土砂流亡への対応】 ① 緊急性の高い箇所があるか検討
希少	英彦山モミ等遺伝資源 (北九州において優良な林相)	2~4	・県協定※によるシカ柵 ・シカ捕獲(一斉)	【捕獲】 ① R2年度から奥地森林における捕獲を実施
希少	犬ヶ岳ブナ等遺伝資源 (ツクシシャクナゲの自生地)	3	・県協定によるシカ柵 ・シカ捕獲(局署、一斉)	【防護】 ① 既存のシカ柵の巡視と補修 ② 県と連携しながら、必要に応じて新たな柵を設置

※福岡県と絶滅危惧種の協定を提携し、英彦山・犬ヶ岳地域の希少種43種の保護に取り組んでいる

②新たなシカ柵設置と奥地森林での捕獲

【選定理由】 H31年度に「対馬ニホンジカ対策戦略会議」が設立され、関係機関一体となった対策を実施するため

保護林名		シカ被害レベル	現在行っている対策	今後の対策
対馬エリア				
希少	対馬スダジイ等遺伝資源 (イスノキ、アカガシ等の照葉樹林で、固有種等が見られ特異性が高い)	2~4	・シカ柵(ネット:441m) ・シカ捕獲(わな協定)	【防護】 ① R2年度に「戦略会議」の対策を踏まえて保全エリアを検討 ② 保全エリアの目標と柵設置箇所の検討 ③ R2年度から保全エリア内に新たな柵を設置 ④ 既存のシカ柵の巡視と補修
希少	御岳ツシマヤマネコ (ツシマヤマネコの保護)	3	・シカ捕獲(わな協定)	【捕獲】 ① R2年度から奥地森林における捕獲を実施

③新たなシカ柵設置

【選定理由】日本を代表する森林生態系地域または、希少種や固有種の生息地であるが、シカ被害が拡大しているため

＜R2年度からシカ柵を設置＞

保護林名		シカ被害レベル	現在行っている対策	今後の対策
生物	鬼の目山 (天然スギ地域集団として貴重)	3・4	・シカ柵 (金網:120m、 ネット:3,900m) ・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	【防護】 ① R2年度から、保全エリア内に新たなシカ柵を設置 ② 既存のシカ柵の巡視と補修
生物	霧島山 (固有種や重要植物群落がある)	3	・シカ柵(ネット:225m) ・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	【捕獲】 ① 引き続き保護林周辺での捕獲を実施

<R3年度からシカ柵を設置>

保護林名		シカ被害レベル	現在行っている対策	今後の対策
①綾エリア				
生態	綾 (日本を代表する照葉樹林で希少植物種が多く生育)	2	・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	【防護】 ① R2年度(綾)、R3年度(大森岳)に実施するモニタリング調査と併せて、保全エリアを検討 ② 保全エリアの目標と柵設置箇所の検討 ③ R3年度から、保全エリア内の新たな柵を設置 【捕獲】 ① 引き続き保護林周辺地域での捕獲を実施
生物	大森岳 (多様な着生植物や林床植物が生育)	2	・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	
②内大臣エリア				
希少	内大臣モミ等 (暖帯上位植生の代表的林相)	3	・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	【防護】 ① R2年度にゴイシツバメシジミとシシンランの生息・生育詳細調査を実施予定(環境省、九州森林管理局、山都町) ② ①の調査結果を踏まえて、保全エリアを検討 ③ 保全エリアの目標と柵設置の検討 ④ R3年度から保全エリア内に新たな柵を設置 (生息状況を把握している箇所についてはR2年度に柵を設置) ⑤ 既存のシカ柵の巡視と補修 【捕獲】 ① 引き続き保護林周辺地域での捕獲を実施 【その他】 ① 保護増殖事業において、ゴイシツバメシジミの保護を実施
希少	内大臣ゴイシツバメシジミ (ゴイシツバメシジミの保護)	3	・シカ柵(金網:170m) ・シカ捕獲 (一斉、署、わな協定)	
③市房エリア				
希少	市房モミ等 (モミ、ツガ、カエデ等の原生林)	3・4	・シカ柵(ネット:6,000m) ・シカ捕獲(一斉)	【捕獲】 ① 引き続き保護林周辺地域での捕獲を実施 【その他】 ① 保護増殖事業において、ゴイシツバメシジミの保護を実施
希少	市房ツガ等遺伝資源 (ツガ、ヒメコマツ、ケヤキ等の原生林)	3	・シカ捕獲(一斉)	
希少	市房ゴイシツバメシジミ (ゴイシツバメシジミの保護)	3	・シカ柵(ネット:14,266m) ・シカ捕獲(一斉)	

④ フロントライン（新たなシカ柵を検討）

【選定理由】 今後シカの侵入可能が高く、優先度の高い保護林であるため

	保護林名	シカ被害レベル	現在行っている対策	今後の対策
希少	久木野アカガシ等遺伝資源 (学術的価値の高い照葉樹の天然林)	0	・シカ捕獲(一斉)	【防護】 ① R2年度モニタリング調査と併せて、保全エリアを検討 ② 保全エリアの目標と柵設置箇所を検討 ③ R3年度から保全エリア内に新たな柵を設置
希少	権現岳シオジ等 (シオジ、ブナ、高山植物等の原生林)	0	・シカ捕獲(一斉)	【捕獲】 ① 保護林周辺地域での捕獲を実施